

平成30年度独立行政法人自動車技術総合機構調達等合理化計画自己評価資料

重点的に取り組む分野

内容	評価	
<p>(1) 審査上屋における改修等工事に関する調達</p> <p>平成29年度については、前年度に対して一者応札割合が減少した。平成30年度においても、引き続き新たな事業者の参画を促進するため、入札情報を機構のホームページの他、業界誌への掲載依頼を行う等あらゆる周知ツールを活用し改善を図る。</p> <p>【平成30年度の取組】</p> <p>入札情報を当機構のホームページのみではなく、あらゆる周知ツールを活用し、新たな事業者の参画を発掘することに努める。</p> <p>評価指標（競争契約に占める一者応札割合）</p>	<p>一者応札件数</p>	<p>競争入札全体に 占める割合</p>
	平成29年度	3件 (13%)
	平成30年度	19件 (35%)
	<p>→平成30年度については、前年度に対して競争契約に占める一者応札割合が増加した。</p> <p>建設事業者や設計事業者に対するヒアリングの結果、特に東日本大震災及び熊本地震の復興工事に加え、オリンピック関連工事の需要の高まりから、金額規模の小さい当機構の工事に積極的に参入する事業者が少なかったと推測される旨回答があった。</p> <p>適切に調達を実施すべく、引き続き、業界誌への入札情報掲載等、入札情報の周知を図っていくとともに、応札者への聴取等により、更なる要因分析を行い対応について検討していく。</p>	
	(参考)	一者応札金額
		競争入札全体に 占める割合
	平成29年度	¥48,589,200 (6%)
	平成30年度	¥302,680,800 (19%)

<p>(2) 共同調達の拡大</p> <p>平成 29 年度については、交通安全環境研究所に隣接する研究機関と共同して、新たに電子複写機の賃貸借及び保守に関する共同調達を実施したほか、引き続き、コピー用紙の購入や電気設備の保守業務に関する共同調達を実施し、事務処理の効率化を図った。平成 30 年度においても、引き続き共同調達を実施するとともに、他の契約についても共同調達の拡大を検討する。評価指標（共同調達の実施件数）</p>	<p style="text-align: center;">共同調達件数</p> <p>平成 29 年度 4 件</p> <p>平成 30 年度 3 件</p> <p>→隣接する他の研究機関が存在する交通安全環境研究所において、昨年度に引き続き共同調達が実施されている。</p> <p>なお、平成 29 年度調達案件の内、1 件は契約期間が複数年度に跨がるため、平成 30 年度の調達件数に含まれていないことから、平成 30 年度の調達件数が 1 件減少した。</p> <p>適切に共同調達を実施すべく、令和元年度計画にて引き続き取組を継続する。</p>
---	---